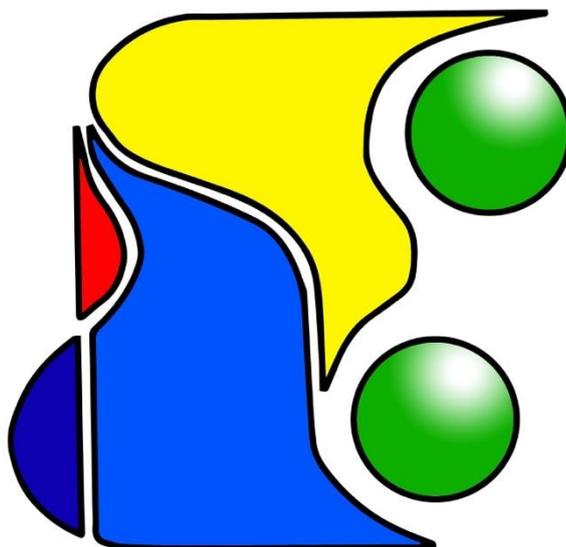


SPACC  
先端錯体工学研究会

The Society of Pure and Applied Coordination Chemistry

# News Letter

## (December, 2021)



SPACC ニュースレター  
(2021 年 12 月号)

目次

1. 根岸英一先生 追悼特集

「根岸英一先生への追悼文」

北海道大学触媒科学研究所名誉教授  
高橋 保

「根岸英一先生のご冥福を祈って」

工学院大学 先進工学部 応用物理学科  
佐藤 光史

2. 日本化学会春季年会特別企画 (SPACC 協賛) 開催のお知らせ

3. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願い

4. 今後の行事予定および事務局からのお知らせ

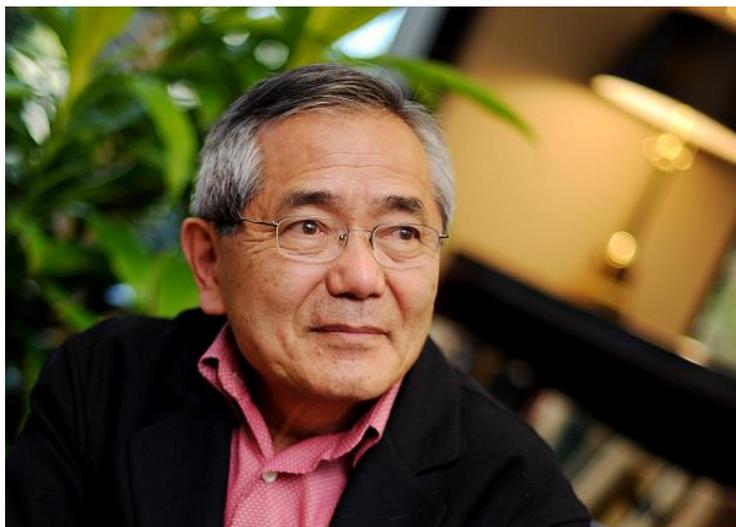
★賛助会員からのお知らせ

## 根岸英一先生への追悼文

北海道大学触媒科学研究所名誉教授

高橋 保

e-mail: [tamotsutakahashi2016@hotmail.com](mailto:tamotsutakahashi2016@hotmail.com)



ノーベル化学賞を受賞された根岸英一先生が、去る6月6日にお亡くなりになりました。SPACCのニュースレターに追悼文を書いてほしいとの依頼を受けましたので、根岸英一先生が、なぜアメリカに渡り、化学の研究を行ってきたのかを中心にお話し、追悼文としたいと思います。

根岸英一先生は1958年に東京大学工学部を卒業し、民間の帝人に就職しました。会社に就職すると、すぐに会社の高分子化学のリーダーに任ぜられたそうですが、大学では高分子化学をまだ十分に学んでいなかったため、大変だったと回想されていました。ちょうどそのころ、帝人の社長が「若者は海外に出て勉強するように」と叱咤激励していたのをチャンスに捉え、当時非常に狭き門であったフルブライト奨学生の試験を受けて合格し、1960年に会社を退職してペンシルベニア大学に留学することになりました。ペンシルベニア大学では毎月のようにセミナーが開催され、ノーベル賞受賞者や非常に高いレベルの研究者の講演に触れる機会があり、大いに影響を受けたと言っておられました。博士号を取得して、1963年に日本に戻ってきたときにチーグラー博士のノーベル賞受賞講演会が東京大学の安田講堂で開催され、この講演を聞きに行ったそうです。「講演はドイツ語だったから、内容は全く分からなかったけど、チーグラー先生がキャタリゼー、キャタリゼーというのだけはわかったよ。」とその当時大変興奮したことを幾度となく私に話してくれました。「キャタリゼーって触媒のことだよ。この時に将来はノーベル賞を取るんだと思った。」と語っていました。

根岸英一先生がご自分の人生において、大きな決断をすることになった東京大学の安田講堂でのチーグラー博士の講演会を思い出し、2010年にご自身がノーベル賞を受賞されて、この安田講堂でノーベル賞受賞講演を行なう機会がありました。「高橋さん、昔の私のように、私の講演を聴いて、将来ノーベル賞を目指す若者が出てくれたら本望だね。」と語られたのが強く印象に残っています。根岸先生の受賞講演の最後に、質問を受け付けたとき、一人の学生が手を挙げて「根岸先生の人生の岐路はどこでしたか？」という質問をしました。この質問が出たとき、私はさすが東大だなと思いました。根岸先生は「アメリカに渡ったところですね。」と答えておられました。

私は1984年から1986年の2年間、パデュー大学の根岸先生の元で博士研究員をしましたが、その時に、「高橋さん、アメリカの社会で日本人が生き抜くためには、実力があるだけではダメなんです。多くの日本人がアメリカに挑戦しに来ましたが、大部分は日本に戻られました。アメリカ人の強いサポートが無いとアメリカでは生き残れないんです。私は幸いにもブラウン先生（1979年ノーベル化学賞受賞）が強くサポートしてくれたので、生き残れました。」と何度も言っておられたのを覚えています。

パデュー大学の化学棟の出入口に本などを飾っている展示コーナーがありました。そのコーナーに分厚い本が、あるページを開いた状態で展示されていました。ちょうどそこに、根岸先生の回想録が載っていて、なぜ日本からアメリカに渡ったのかの理由が書かれていました。「当時の日本は一度大学を出ると、もう大学に戻ることができない、そういう社会でした。大学で研究を行うのであればアメリカに来る以外に選択肢はなかったのです。」と。

将来ノーベル賞を取ると心に決めて、でもアメリカに渡るしか選択肢がなかった時代に、人生を賭けてアメリカに渡り、アメリカ人の強いサポートが無いと生き残れない社会だと知らずに、必死に生き抜いて、目標としていたノーベル賞を受賞するまでにご自身の研究のレベルを上げていかれた類まれな研究者を失ったことは、大きな損失です。根岸英一先生はノーベル賞受賞が発表されたときに、メディアの取材に対して、40年来の夢がかないました、と答えておられました。

そのような根岸英一先生に、たくさんの教え子がおられるにもかかわらず、私はノーベル賞授賞式、国王主催のノーベル賞晩餐会に招待していただき、またノーベル賞受賞講演では名前を読み上げられて、皆の前で謝辞を述べていただいたのには大変感激しました。お礼を申し上げますとともに、根岸英一先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 根岸英一先生のご冥福を祈って

工学院大学 先進工学部 応用物理学科

佐藤 光史

e-mail: ft10302@ns.kogakuin.ac.jp

去る6月6日ご逝去された根岸英一先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

2010年のノーベル化学賞受賞をはじめ、根岸先生が打ち立てられた輝かしい偉業の数々については、近くで支えてこられた皆様からの詳細なご報告にお任せし、最近10年間ほどで本学の行事の際などに触れることができた先生のご様子とお人柄を記して追悼とさせていただきます。

根岸先生は、2012年の本学学園創立125周年の記念行事において、クロスカップリング反応とノーベル賞に関してご講演賜り大きな華を添えて下さいました。その記念式典の中で、当時の水野明哲学長から本学名誉博士の称号を受け取って頂きました。岡山大学や東京大学をはじめ国内外を代表する多数の大学から称号を受けられた先生でしたが、本学第一号の名誉博士になって頂いたことは関係する者として誇りとするところです。

これを契機として大学のイベント等に何度もご足労賜り、特に2015年の先進工学部開設に当たっては、その前年の記念フォーラムと本研究会が同時開催したSPACC21へのご参加も叶いました。多くの会員の皆様も先生とのご歓談を記憶されていることと思います。写真は、その懇親会で水野元学長の尺八伴奏で根岸先生が「荒城の月」を熱唱された時の貴重な一枚です。高校時代は合唱部に所属されたことから分かるように、ゴルフと並んで好まれた趣味の一つが歌唱でした。十八番は迫力ある「昴」で、



感情溢れる「シクラメンのかほり」や「コスモス」なども愛唱されました。いつも側におられて一言添えられるすみれ夫人は、先生に注文を付けては嬉しそうにできる唯一の存在でした。「やりがいのある仕事、良い家庭、楽しい趣味こそが人生の喜び」との信条をそのまま体現された先生でした。下の写真は、本会会長、前会長、すみれ夫人もご一緒の懇親会での一コマです。



また別の機会のことですが、八王子キャンパス近くで根岸という陶芸店を移動の車中で見つけられました。そのような時に、雰囲気は自然に和らいでしまう笑顔でご自身も楽しまれるのが先生の大きな魅力でした。案内役で緊張気味の事務方も、先生の笑顔ですぐにファンになったようです。一方で、授業を評価するアンケートについては、学生からの点数は決して高くないとのお話をされていました。成績を甘くすれば評価は高くなるだろうけれども、それが良いとは思わないとも付け加えられ、先生の教育に対する姿勢を知りました。大きな夢を持って若者を元気付けることばの多い先生ですが、研究では尚更、凜とした厳しさがあつたことは容易に想像できます。

11年前の74歳でノーベル賞を受賞され、その後も年齢を感じさせない迫力に驚くばかりでした。研究紹介を兼ねた雑誌の巻頭言への原稿をお願いした際には、キャンパスの一室でマス目原稿用紙に万年筆を走らせて直筆で一気書き上げられました。傍には、かなりの重さのある愛用の使い込まれた黒い鞆があり、旅が続く人生を送られた先生を象徴していました。最初にご講演頂いた2012年は五大陸15カ国を巡られて、9カ月以上の在外生活を送られたとのことでした。このような長い旅を終えられ、少し早く先立たれたすみれ夫人とご一緒の安らかさを楽しまれていると信じて疑いません。コロナ禍できちんとしたお別れも未だ難しい状況下ですが、先生ご夫妻に心からの感謝を捧げます。

## 2. 日本化学会春季年会特別企画（SPACC 協賛）開催のお知らせ

日本化学会第 101 春季年会において、本研究会のメンバーである永井先生（工学院大学）が応募された特別企画が採択されました。

SPACC では下記の特別企画に協賛します。会員の皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

～日時～

2022 年 3 月 24 日（木）（日本化学会第 102 春季年会）

13 時 00 分～15 時 40 分

～会場～

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

\*今後の COVID-19 感染状況によりオンライン方式に変更の可能性あり

～企画タイトル～

抗菌・抗ウイルス機能を付与する無機材料設計

Inorganic materials design for antibacterial and antiviral function

～趣旨～

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、人命はもとよりあらゆる社会活動の脅威である。歴史的にはペストやスペイン風邪などの大流行もあり、近年では、SARS (2003 年)、新型インフルエンザ (2009 年)、MERS (2012 年) と新たな感染症が実際に頻発している。将来のアフターコロナ時代にあっても、さらなる新興感染症への備えは欠かせない。化学が大きな役割をもつ抗菌・抗ウイルス材料の開発は大いに役立ち得るが、その設計には生物学、医学分野における専門家の視点を含めた議論が必須で、多分野間の協力関係が重要である。本企画は、多角的な視点から新たな感染症対策としても貢献できる無機材料設計を目指すもので、これら材料の社会実装も視野に入れて産業界と連携して実施する。

～プログラム～

13:00-13:10 趣旨説明  
(工学院大学) 永井 裕己

座長 (東京医療保健大学) 松村 有里子  
13:10-13:50 新型コロナウイルス概説  
(大阪大学) 中山 英美

13:50-14:20 深紫外 LED と殺菌  
(星和電機株式会社) 堂浦 剛

座長 (工学院大学) 永井 裕己  
14:20-15:00 抗菌性材料としての銅  
(大阪市立大学) 川上 洋司

15:00-15:40 分子プレカーサー法による材料表面の抗菌・抗ウイルス活性化  
(工学院大学) 佐藤 光史

### 3. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願い

先端錯体工学研究会(SPACC)会員の皆様におかれましては、常日頃より本学会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。学生様につきましてもご入会をお待ちしております。ご希望の場合、1 研究室あたり年会費 1,000 円で、20 名様まで入会・登録していただけます。SPACC が主催する国際会議において、ポスター賞の審査には、必ず学生会員登録が必要です。

#### [年会費]

##### ・個人正会員

賛助会員: 50,000 円, 正会員 : 3,000 円

##### ・学生会員 (1 口) 1,000 円

(1 研究室で 1 口につき 20 名まで)

##### ・法人会員 (1 口)

維持会員: 10 万円

一般会員: 2 万円

振込先: 先端錯体工学研究会

##### ・振込用紙を用いた郵便振込

00130-7-773549

##### ・銀行からのお振込

ゆうちょ銀行

(金融機関コード: 9900)

〇一九店 (店番: 019)

当座 0773549

#### \*学生会員の場合:

会費の振り込みの際は、担当教員名か研究室名を、通信欄あるいは振込者名に書き加えて下さい。また、登録学生およびメールアドレスは、忘れずに事務局宛にお知らせください。

#### [入会手続]

##### ・電子メールによる手続

以下の URL に記載されているフォームをダウンロードするかコピーして必要事項をご記入の上、[jimukyoku@spacc.gr.jp](mailto:jimukyoku@spacc.gr.jp) 宛に送信してください。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

##### ・郵送による手続

以下の URL に記載されているフォームをダウンロードして、必要事項をご記入の上、事務局宛に郵送して下さい。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

#### 郵送先

〒141-8648 品川区東五反田 4-1-17

東京医療保健大学大学院

医療保健学研究科

松村 有里子

4. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

主催

The 27<sup>th</sup> International SPACC  
Symposium (SPACC27)

場所: 高知工科大学永国寺キャンパス

会期: 2022 年(時期未定)

(再延期しました)

担当: 小廣和哉 (高知工科大)

伊藤亮孝 (高知工科大)

松本健司 (高知大学)

詳細は、追ってご連絡致します。

主催

The 28<sup>th</sup> International SPACC  
Symposium (SPACC28)

場所: 台湾

会期: 2023 年(時期未定)

(再延期しました)

担当: 天尾 豊 (大阪市立大学)

Kevin C.-W. Wu

(National Taiwan University)

詳細は、追ってご連絡致します

共催

Pacifichem2021 シンポジウム(#127)

" New Directions in Homo/Heterogenous Catalysis of  
Hydrogen Production and CO<sub>2</sub> Utilization "

会期: 2021 年 12 月 15 日~20 日

会場: Virtual (Online)

シンポジウム世話人:

Yutaka Amao, Yusuke Yamada, David E Herbert, Shi Zhang Qiao

編集後記

今月号では、根岸英一先生の追悼特集を掲載させて頂きました。ご多忙にも関わらず、ご寄稿くださいました先生方に心より感謝を申し上げます。

今年もあとわずかとなり、コロナ禍も約2年が経とうとしています。当初は研究の停滞を心配しましたが、不思議と論文数はコロナ禍の方が増えていたりして、自分(研究)と向き合う時間が増えているのかなと思います。外へのチャレンジはしにくい時期ではありますが、内でもできるチャレンジを積み重ねていこうと思います。(桑村)

ニュースレター担当への問い合わせ方法

ご研究紹介等, SPACC ニュースレターへのご寄稿をしていただける場合や, 本会が主催または協賛するシンポジウムの情報は, 事務局までお気軽にお知らせください。

先端錯体工学研究会事務局

E-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp

東京医療保健大学大学院 松村有里子

信頼・実績 No.1 !

# 超純水装置 Mill-Q® Integral MT

マルチアプリケーション対応装置・バリデーション可能



水質保証付き！ Water in a Bottled

## 分子生物学用水・細胞培養用水

「水割」プランでお得にまとめて購入可能！



メルク 水割

検索



 竹田理化工業株式会社

本社 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-7-5 <http://www.takeda-rika.co.jp>

営業本部 TEL.03(5489)8511  
 東京支店 TEL.03(5489)8521  
 西東京支店 TEL.042(589)1192  
 千葉支店 TEL.043(441)4881  
 筑波支店 TEL.029(855)1031

いわき営業所 TEL.0246(85)0650  
 鹿島支店 TEL.0299(92)1041  
 湘南支店 TEL.0463(25)6891  
 横浜支店 TEL.045(642)4341  
 三島支店 TEL.055(991)2711

埼玉支店 TEL.048(729)6937  
 高崎支店 TEL.027(310)8860  
 宇都宮支店 TEL.028(611)3761  
 延岡事務所 TEL.0982(29)3602